

原単位での原価管理による製品損益管理

コスト削減・業務効率化につなげる製造業向けデータ分析セミナー

本イベント・セミナーは終了いたしました。

原因分析が可能なデータの蓄積方法およびデータの分析・活用について、「原単位レベルでのコスト管理」に焦点を当てたセミナーを開催いたします。

ご案内

100年に1度といわれる世界不況の中で、製造業を取り巻く環境はますます厳しくなり、コスト削減・業務効率化にむけた変化・変革が求められています。

情報システムを活用した潜在的な課題の顕在化をすすめる中で、「基幹システムのデータでは原因分析が困難！」とお悩みの企業様が多く見受けられます。

本セミナーでは、「原単位レベルでのコスト管理」に焦点を当て、原因分析が可能なデータの蓄積方法および分析・活用について、課題解決を支援するソリューションと併せてご説明いたします。

「基幹系システムの整備が進んでおらず、データが蓄積できていない」「製品別の原価が見えておらず、製品別の損益が把握できていない」といった課題をお持ちの企業様にもお役に立てるセミナーです。

是非ご参加ください。

開催概要

開催日時

2009年7月15日（水曜日） 15時～17時（受付開始：14時30分）

会場

東洋ビジネスエンジニアリング株式会社 東京本社
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-8-1 KDDI大手町ビル

[会場の周辺地図・アクセスについて（東洋ビジネスエンジニアリング株式会社 東京本社）](#) 

定員

30名（定員となり次第、受付を終了）

参加費

無料（事前予約制）

主催・共催

主催

三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社

共催

株式会社アシスト

東洋ビジネスエンジニアリング株式会社

プログラム

スケジュール	内容
15時～15時40分	コスト削減・業務効率化につなげるデータ分析とは ～基幹系システムでの蓄積データの分析と活用～ 多くの企業様がERPの導入等により基幹系システムの整備を進められた一方で、「データは蓄積されているはずだが上手く活用できていない」というお客様の声も多く聞き及びます。この原因は、「データの質」「データ分析方法」に問題がある場合が多いと思われます。 本セッションでは、「コスト削減・業務効率化につなげるデータの見える化から使える化」をテーマに基幹系システムで蓄積データの質をどのように向上させるか、どのように分析・活用すべきかについて、弊社のソリューションコンセプト「DIAMxM」と併せてご説明します。
15時40分～16時20分	製造原価を正確に把握！！ ～原価管理ソリューション「MCFrame原価管理」のご紹介～ 「DIAMxM」により収集された「原単位レベルの情報」を利用した「MCFrame原価管理」ソリューションによる「原価管理」をご紹介します。 MCFrame原価管理ソリューションは、「標準原価」「予算原価」「実績原価」「実際原価」の4つの原価計算機能を中心とし、多様な配賦要件を解決する配賦関連の機能群や、原価見積に不可欠なシミュレーション計算環境を備えた、製造業を中心に幅広い業種・業態に適用可能な原価管理ソリューションです。
16時20分～17時	経営者～部門担当者まで！蓄積データをリアルタイム・自由に分析！！ ～オペレーショナルBIを実現するBIソリューション「WebFOCUS」のご紹介～ 基幹系システムで蓄積したデータを「トレーニングなしに」「情報をほしい形で」「リアルタイムに」活用できます。経営者から部門担当者までの全社員に対し、業務に直結した「見たい形」「見やすい形」で情報を提供することで、コスト削減・業務効率化につながる分析を可能にするBIソリューション「WebFOCUS」をご紹介します。

お申込方法

お申込受付は終了いたしました。

お問い合わせ先

三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社
製造・サービス営業部
担当：MCFrame担当

電話：03-5445-7462
FAX：03-5445-7791

関連情報

関連ソリューション

[生産システムトータルソリューション DIAMxM](#)

[SCM/ERPソリューション MCFrame](#)

[このサイトについて](#) [個人情報保護方針](#) [商標について](#)

Copyright © 2019 MITSUBISHI ELECTRIC INFORMATION SYSTEMS CORPORATION All Rights Reserved.